

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493700197	事業の開始年月日	H24年2月1日
		指定年月日	H24年2月1日
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 いちがお		
所在地	(〒 225-0014) 横浜市青葉区荏田西1-12-11		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	H26年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成27年2月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

穏やかに・安心して・安全に・笑顔のある生活を、常に考え利用者様に接しています。
ご本人の主張を常に受け入れ、不安にならなくストレスを与えないように支援しています。
また、社会活動として、民生員さんと協力して自治会を通して、行事等に積極的に参加出来るように努めています。
当施設の建物は、以前会社の寮だったためハード面は他GHに比べると、少し劣る部分があると思います。しかしながら、GHらしくない建物を工夫しながら良い雰囲気に変えています。たとえば、玄関が他GHとは違いとても広いため、当施設の名前にも『花』が有るように、玄関には沢山の花が飾れており、雰囲気もアジアン風に変える事で利用者様の癒しになればと思います、雰囲気作りに力を入れています。
また、玄関でティータイムを楽しめるよう本格的なコーヒーもあり、喫茶店でコーヒーを飲んでいる雰囲気を味わって頂いております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	神奈川福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年11月6日	評価機関 評価決定日	平成27年1月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】
この事業所は、田園都市線市が尾駅東口から徒歩約10分の丘陵地帯の住宅地に位置する。建物は社員寮であったRC造4階建てを改造したものである。1階は玄関、事務室及びホール、会議室兼職員詰所となっており、2、3階が2ユニットのグループホームになっている。4階は多目的室や職員宿舎として利用するために改装している。
建物の構造上若干の段差があるが、共有部分は手すりなどを設置して可能な限り安全対策を施している。リビングは手狭であるが、それを利点として職員が利用者の身近に接してきめ細かくサポートしている。キッチン脇の見守りやすい場所には作業テーブルを設置し、職員が調理をしながら利用者に目を配ったり作業台で食材の下ごしらえなどを手伝ってもらっている。
玄関前には、花守担当職員が花を植えたプランターと木製のベンチが置いてある。内部は、丸テーブルと椅子を設置して喫茶コーナーとして利用したり、訪問者の対応もしている。テーブルには生花を飾って季節感と華やかさを演出し、使い終わった花はアーティストチックなおブジェにして玄関ホールを賑わしている。
【利用者の意向や希望に沿ったサービス】
開所時に皆で話し合っ作成した事業所の理念は、「その人らしさを大切に、尊厳を守って安心して生活できる環境を提供する」という趣旨のものである。職員は、利用者の以前からの生活情報を共有し、できるだけ利用者の要望に応じて、他の人に迷惑がからない限り自由にしてもらっている。利用者は、リビングでくつろいだ様子でお茶を飲んだりテレビを見たり、職員や利用者同士で談笑したりしていた。入所間もない利用者の求めをできるだけ受け入れ、信頼を得て落ち着いた生活が出来ようになった事例もある。
毎週訪れる、街頭販売のパン屋から好みのものを購入したり、散歩を兼ねて近隣の商店で買い物をする利用者があるが、食品は衛生面や食べすぎの観点から居室に置かないで、職員が管理しておやつ時間に提供するなどしている。
職員は利用者寄り添って笑顔で明るく語りかけ、昔話に耳を傾けたりやりたいことや食べたいものなどを聞いて、できるだけサービスに反映させるようにしている。職員同士が連携して利用者をもれなくケアしている。また、家族が数組訪れて職員やほかの利用者にも声をかけたり笑顔を向けて馴染みの関係になっていることが見て取れた。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 いちがお
ユニット名	いちがお2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所作りを基本に「その人らしさを大事に」「尊厳を守り」を常に考え実践につなげています。	職員に施設理念の周知・共有を図り、利用者個々の尊厳を守りながら自宅で生活しているように自由に暮らせるよう支援を実施している。職員の個々の利用者に応じた柔軟な対応が、温かい雰囲気醸し出している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	荏田西自治会に参加。年間の催し物（公園清掃・避難訓練・夏祭り・餅つき大会等）に利用者様と一緒に参加し地域の一員として交流している。	地域の自治会に加入し、廃品回収に協力したり職員や利用者が公園清掃などに参加したりしている。近隣の小学校の夏祭りを見物に行っている。民生委員の紹介で、傾聴や音楽ボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会を通し近隣との協力関係を積極的に行い、また、施設をしってもらうため、見学会をオープンにしたり、自治会の会議の場がない時はと施設の場所を提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し施設での生活の様子・事故・催し物等の出来事を報告しています。報告だけでなく、家族・民生員・包括の方々より意見を頂き、サービス向上に努めています。	運営推進会議は2か月に1回開催している。メンバーは家族、自治会会長、民生委員、地域包括支援センター職員と当事業所職員である。内容は、入居者情報、職員の異動、行事予定などの報告と参加者との意見交換である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括の職員。民生員等に関しては、運営推進会議に参加して頂き常に情報を共有し意見交換をしています。	市の担当者に外部評価報告書の提出を行っている。地域包括支援センターとは、事業所見学の受入れや文化祭の見学などで交流している。区の職員に運営推進会議への参加を依頼している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行ため」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理念にも唱えているように、その人らしく、尊厳を守り生活をして頂いております。事業所内のミーティングでも随時研修を行っています。玄関の施錠に関しても、昨年同様に事務員がいるときは施錠していません。	運営規定や契約書に拘束をしないケアについて明記し、職員研修を行っている。制止の言葉はできるだけやわらかい口調で強制しないようにしている。車椅子使用の方には、クッションで座位を調節したりベッドに移乗して静養してもらうようにしている。玄関は事務所に職員がいるときは開錠し、エレベーターは安全確保のため施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常日頃ミーティング等で指導しています。研修も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後も内部研修・外部研修への参加を含め、職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、家族が理解しやすいように説明をし、不安がなく入居出来るように対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時はその都度、家族とコミュニケーションを図り、意見・要望等を頂き解決に努めています。その内容は、申し送り時または連絡ノートを活用し伝えていきます。面会の少ない家族に対しては意見書等で対応していましたが、意見等が少ないため中止をしていましたが、今後は再度継続して行きます。目安箱を実施しています。	利用者は地域の方が大半で家族の来訪も多く、その際に家族の意向や意見、苦情などを聞き取っている。調査訪問時には数組の家族が昼食の見守りなどに来て、職員や他の利用者と会話を交わっていた。例年クリスマス会と合わせて運営推進会議と家族会を開催している。家族からの要望を受けて、訪問歯科料金の支払いを銀行口座引落しに変更した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回スタッフ会議を開催し、報告・連絡・相談をおこなっています。スタッフの意見・要望を聞き出来るだけ反映出来るように努め、風通しの良い職場作りを今後も目指して行きます。	管理者は風通しの良い運営を目指し、常日頃職員の意見や提案を聞きとるように努めている。職員は、毎月のスタッフ会議やカンファレンスで、積極的に意見や提案を述べている。職員の提案を受けて、レクリエーションで使う物品や備品については管理者の裁量で購入している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	仕事の効率化を常に考えています。備品等の整理も日々行っています。職員の処遇改善についても、給料水準の見直し等を行いました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修等を行い個々にスキルアップが出来る実施しております。また内部研修では研修先を現在3ヶ所設け新人研修及びスキルアップ研修を実施し個々のレベルを上げています。更に今年からは外部研修先との契約で今以上のスキルアップが望めます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	当社は月1回、神奈川エリアの管理者が集まり、様々な情報を共有し、問題があれば皆で解決するように話し合っております。職員同士の交流は今も行っておりませんが今後は施設研修を実施する予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、ケアプランを作りスタッフ全員に把握して頂き入居後の生活が安心安全に生活して頂ける様支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望、家族の要望を十分に理解・把握し本人にとってどの様な生活が良いかを考えながら関係を築いて行きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族様が何を望んでいるかを見極め、計画を立てていきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当施設の理念でもある、その人らしさを常に考え、その人にあった生活をしてほしい。そのためには残存の力を活かし、出来る事は自分で行うようにして頂き、人生の先輩である事を踏まえて接して行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の変化を家族に説明し、情報を共有しながら、利用者様・ご家族の要望を聞き、支えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は基本的には決めておらず、自由です。連絡さえ頂ければ問題ないと説明はしております。外出・外泊も積極的に行って頂ける様お願いしております。	以前から地域に住んでいた利用者は、家族と近隣の散歩や近くの店への外出に出かけている。年賀状などが来たときは代読するなどの支援をしている。以前からの知人・友人の来訪時には居室に案内して茶菓の接待をしている。携帯電話で家族などと通話を行っている方が1名いる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション（トランプ・散歩・風船バレー等）は常に皆と一緒に出来るように声掛けを行っています。本人の気持ちを尊重しながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、家族より相談があった場合は対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の個々の思いを把握し出来る事は実施しています。難しい部分に関しては家族相談、または会議を通して解決に努めています。	職員は、利用者本人や家族の思いや希望を聞きながら意向に沿うように努めている。たとえば利用者が「退屈」と言った場合は、外に出て散歩や買い物など気分転換につながるようなことをしている。職員が把握した情報は管理者に伝えたり、申し送りノートを活用したりして皆で共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人記録表と一緒に個人の経歴等をファイルし、情報を共有し今後のサービス向上に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々申し送りをを行い情報の共有に努めております。また申し送りノートを活用し、もれのないように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で、様々な意見を反映し、ケアプランを作成しております。	利用者ごとに課題を抽出し、介護計画を作成している。職員は計画の目標やサービス内容に沿った記録をつけている。カンファレンスで職員の意見を聞いてモニタリング・評価を作成している。計画の見直しは、3～6か月、変化のあったときはその都度行っている。必要に応じて医療情報も取り入れている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録においての変化は申し送り・連絡ノート・業務日誌等から把握し、会議で情報を共有し改善し、ケアプランに活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外の認可や体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援、サービスを行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には積極的に参加をしております。また散歩時の買い物や外食も行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診対応を実施しております。また往診日でない日も利用者様が体調不良であれば、その都度対応させて頂いております。	協力医は、月の初めに全員の往診を行いその後は個別診療を行っている。非常勤の看護師が、利用者の健康管理と医師への報告を行っている。家族対応で、かかりつけ医を受診している方か1名おり、診療情報は家族から得ている。訪問歯科は週1回来訪し必要に応じて治療している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は週2回対応されております。その中で利用者様の健康管理を行い、介護士からの情報を把握したなかで、主治医に報告し適切な対応をしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、病院関係者・ご家族と連絡を密に取り情報を把握しています。また定期的にお見舞いを実施しております。退院時には立会い、今後のケアの部分で病院関係者から情報収集しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医とご家族と連携を取りながら対応するように心がけています。	「利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針」を契約時に提示して同意を得ている。これまで、看取りの事例はないが、利用者の重度化が進んだ場合には、家族、医師・看護師、事業所が話し合っ同意を得たうえで対応する方針である。協力医、訪問看護は24時間オンコールの体制にある。	重度化した場合の指針を職員に周知し、看取りの際の基本的な注意事項や心構えなどについて研修を実施することを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、研修を行い周知徹底しております。また緊急対応マニュアルを作成し、皆が見える場所に掲示しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内に食料・水の備蓄をしている。職員には年2回の避難訓練実施し避難方法、非常口の確認をしています。近隣に関しては口答ですが、目の前の学生寮・近隣の自治会の方に協力を呼びかけています。	防災訓練は年2回、消防署の立会いで、夜間想定や消火器訓練などを行っている。職員、利用者、地域から民生委員、消防団員、地域包括支援センター職員などが参加している。各階に緊急時の避難経路の掲示がある。災害備蓄は飲料水3ケース、食料は職員の分を含めて5日分程度保有している。	災害備蓄について、飲料水と食料品の数量の管理や、カセットガスコンロ、簡易トイレ、保温シートなど、備蓄内容の充実を図ることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念(そのひとらしさを大事に・尊厳を守る・安心して生活できる場所)を常に考え支援しています。	職員は、理念に沿ってその人らしさと尊厳を大切に考えてサービスを行っている。家族のように接して、堅苦しい言葉づかいは避けているが、親しみと共に尊敬の念を持って、馴れ馴れしい言動にならないよう心がけている。個人情報を含む書類は施錠できる書棚で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お手伝いを頼んだり、散歩に行ったり、レクリエーションへの参加をして頂く際には、ご本人の意志を尊重しながら決めて頂くように支援して行きます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様のペースに合わせて、何をしたいかを気づき、考えて支援して行きます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度訪問美容を利用しています。また更衣時も本人の意思決定に任せ好きな洋服を着て頂くよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人が出来る範囲で、食事の野菜切り・食器洗い・食器拭き配膳・下膳を手伝って頂いております。	メニューと食材は専門業者から届けられ、職員が調理して出来たての食事を提供している。利用者の状況に応じて刻んだりとろみをつけている。ユニットごとに職員1名が同席して同じものを食べている。利用者は、下ごしらえや配膳、下膳を手伝っている。回転寿司に行ったり弁当の出前をとったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量に関しては、日々摂取量を記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫し摂取して頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員の声掛けにて誘導し口腔ケアを行っております。また、週1回訪問歯科により口腔内の診察を定期的に行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の状態を把握した中で、その人に合ったサイクルを見つけ出し声掛け誘導を行っている。また、カンファを行い情報を共有し一番良い支援を考えています。	排泄は自立の方が多いが、排泄チェック表で個々のパターンを把握し、さりげなく声かけ誘導をしている。夜間は安全確保やトイレ使用が重複しないようにポータブルトイレを使用する方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を増やしたり、野菜等を食べて、改善しようとするも改善出来ない場合は、医師・看護師に相談しながら対応をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の際は、必ず本人の意思決定で行っています。また入浴の前は、必ずバイタルの計測を行っています。	入浴は、原則として週に2～3回で、無理強いせず個々の意向に沿っている。気が進まない場合は、午後時間を取ってゆっくり入ってもらいなどしている。状況によりシャワー浴や清拭に変えることもある。入浴剤を使ったり、菖蒲湯や柚子湯などで季節感を味わってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないため、夜安眠して頂くために、適度なお昼寝をして頂くよう支援しています。又夜間安眠して頂くよう定期巡視を行い、安全・室温のチェックを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時必ず二人で薬を確認し名前・日付・何時の薬か？をチェックし服薬をしております。またもう一人のスタッフは、与薬者を目追ひ、本人に服薬させているかを必ず確認をしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し・配膳の準備・料理の準備、本人の意志を確認しながら気分転換が出来る様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事の予定を決めて、出来るだけ戸外での行動が出来る様に支援しています。また近くの公園、コンビニと行き買い物をするように支援しています。	坂が多い地形のため、ベランダで外気浴をしたり、外に出て玄関先のプランターの花を観賞したり、気分転換に短い距離を歩いたりしている。近隣のドライブや買い物を楽しむこともある。毎年開催される地域包括支援センターの文化祭を見学に行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人はお金は持っておりませんが、散歩時や本人から何か食べたい等の要望があった場合は、一緒に買い物に行く支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設へ本人宛の電話があった場合は取り次いでいます。本人からの電話の要望があった場合は、状況を見て事務所より電話をさせています。（携帯を持っている方もいます。）手紙が届いた場合も本人に手渡しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わえる行事や、壁に季節の張り紙を貼ったり、出掛けた時の写真を貼っています。	リビングは広くはないが、利用者と職員が密に触れ合って会話をしたりレクリエーションを楽しんだりしている。壁には、利用者の習字の作品や花、切り絵など季節感あふれる飾り、イベントを楽しんでいる写真などを飾っている。浴室入口を除いてはほとんど段差がない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	窓際に、椅子やソファを置き、外を見たり、会話をされたり、雑誌をみて穏やかにすごしています。また1Fの共用部分に生花を飾り、レイアウトを考え少しでも癒しになるように支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは家族の要望に応じています。壁に写真や自分の作品を飾っている利用者様もいらっしゃいます。危険物（火器・貴重品・食べ物）に関しては持込を禁止しております。	居室には、照明器具、空調設備、キャビネット、ベッドが常備されている。利用者は、防災カーテン、テレビ、家具、寝具や衣類など馴染みのものを持ちこんでいる。清掃は職員が行い利用者が手伝うこともある。入口は職員が描いた利用者の似顔絵を貼って分かりやすくしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が歩かれる所は手すりが設置されており安全に移動が可能です。浴室・トイレも案内板があり、場所も理解できる利用者様もいます。		

事業所名	花物語 いちがお
ユニット名	いちがお3F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所作りを基本に「その人らしさを大事に」「尊厳を守り」を常に考え実践につなげています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	荏田西自治会に参加。年間の催し物（公園清掃・避難訓練・夏祭り・餅つき大会等）に利用者様と一緒に参加し地域の一員として交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会を通し近隣との協力関係を積極的に行い、また、施設をしつてもらう為、見学会をオープンにしたり、自治会の会議の場がない時はと施設の場所を提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し施設での生活の様子・事故・催し物等の出来事を報告しています。報告だけでは無く、家族・民生員・包括の方々より意見を頂き、サービス向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の職員。民生員等に関しては、運営推進会議に参加して頂き常に情報を共有し意見交換をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理念にも唱えているように、その人らしく、尊厳を守り生活をして頂いております。事業所内のミーティングdも随時研修を行っています。玄関の施錠に関しても、昨年同様に事務員がいるときは施錠していません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、常日頃ミーティング等で指導しています。研修も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後も内部研修・外部研修への参加を含め、職員間で話せる場を設けていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご入居の際の契約は、家族が理解しやすいように説明をし、不安がなく入居出来る様に対応しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時はその都度、家族とコミュニケーションを図り、意見・要望等を頂き解決に努めています。その内容は、申し送り時又は連絡ノートを活用し伝えていきます。面会の少ない家族に対しては意見書等で対応していまし		

			<p>たが、意見等が少ない為中止をしていましたが、今後は再度継続して行きます。目安箱を実施しています。</p>		
--	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回スタッフ会議を開催し、報告・連絡・相談をおこなっています。スタッフの意見・要望を聞き出来るだけ反映出来る様に努め、風通しの良い職場作りを今後も目指して行きます。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	仕事の効率化を常に考えています。備品等の整理も日々行っています。職員の処遇改善についても、給料水準の見直し等を行いました。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の研修等を行い個々にスキルアップが出来る実施しております。また内部研修では研修先を現在3ヶ所設け新人研修及びスキルアップ研修を実施し個々のレベルをあげています。更に今年からは外部研修先との契約で今以上のスキルアップが望めます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	当社は月1回、神奈川エリアの管理者が集まり、様々な情報を共有し、問題があれば皆で解決するように話し合っております。職員同士の交流は今も行っておりませんが今後は施設研修を実施する予定です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分なアセスメントをとり、ケアプランを作りスタッフ全員に把握して頂き入居後の生活が安心安全に生活して頂ける様支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の要望、家族の要望を十分に理解・把握し本人にとってどのような生活が良いかを考えながら関係を築いて行きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族様が何を望んでいるかを見極め、計画を立てていきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	当施設の理念でもある、その人らしさを常に考え、その人にあつた生活をしてほしい。その為には残存の力を活かし、出来る事は自分で行うようにして頂き、人生の先輩である事を踏まえて接して行きます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の変化を家族に説明し、情報を共有しながら、利用者様・ご家族の要望を聞き、支えて行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間は基本的には決めておらず、自由です。連絡さえ頂ければ問題ないと説明はしております。外出・外泊も積極的に行って頂ける様にお願いしております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション（トランプ・散歩・風船バレー等）は常に皆と一緒に出来るように声掛けを行っています。本人の気持ちを尊重しながら支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、家族より相談があった場合は対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の個々の思いを把握し出来る事は実施しています。難しい部分に関しては家族相談、または会議を通して解決に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人記録表と一緒に個人の経歴等をファイルし、情報を共有し今後のサービス向上に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々申し送りを行い情報の共有に努めております。また申し送りノートを活用し漏れの内容に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医・看護師・ケアマネ・介護士等で、様々な意見を反映し、ケアプランを作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録においての変化は申し送り・連絡ノート・業務日誌等から把握し、会議で情報を共有し改善し、ケアプランに活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会時間外の認可や体調不良時における受診対応は、必要に応じて支援、サービスを行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事には積極的に参加をしております。また散歩時の買い物や外食も行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診対応を実施しております。また往診日でない日も利用者が体調不良であれば、その都度対応させて頂いております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は週2回対応されております。その中で利用者様の健康管理を行い、介護士からの情報を把握したなかで、主治医に報告し適切な対応をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、病院関係者・ご家族と連絡を密に取り情報を把握しています。また定期的にお見舞いを実施しております。退院時には立会い、今後のケアの部分で病院関係者から情報収集しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、契約時に説明し、早期に主治医とご家族と連携を取りながら対応するように心がけています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応に関しては、研修を行い周知徹底しております。また緊急対応マニュアルを作成し、皆が見える場所に掲示しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内に食料・水の備蓄をしている。職員には年2回の避難訓練実施し避難方法、非常口の確認をしています。近隣に関しては口答ですが、目の前の学生寮・近隣の自治会の方に協力を呼びかけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	当施設の理念(そのひとらしさを大事に・尊厳を守る・安心して生活できる場所)を常に考え支援しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お手伝いを頼んだり、散歩に行ったり、レクリエーションへの参加をして頂く際には、ご本人の意志を尊重しながら決めて頂くように支援して行きます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の日々の状態を把握しながら、利用者様のペースに合わせて、何をしたいかを気づき、考えて支援して行きます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に一度訪問美容を利用しています。また更衣時も本人の意思決定に任せ好きな洋服を着て頂くよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご本人が出来る範囲で、食事の野菜切り・食器洗い・食器拭き配膳・下膳を手伝って頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量に関しては、日々摂取量を記入しチェックしております。摂取量の少ない利用者様に関しては、工夫し摂取して頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員の声掛けにて誘導し口腔ケアを行っております。また、週1回訪問歯科により口腔内の診察を定期的に行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の状態を把握した中で、その人に合ったサイクルを見つけ出し声掛け誘導を行っている。また、カンファを行って情報を共有し一番良い支援を考えています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を増やしたり、野菜等を食べて、改善しようとするも改善出来ない場合は、医師・看護師に相談しながら対応をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の際は、必ず本人の意思決定で行っています。また入浴の前は、必ずバイタルの計測を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しない為、夜安眠して頂く為に、適度なお昼寝をして頂くよう支援しています。又夜間安眠して頂くよう定期巡視を行い、安全・室温のチェックを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時必ず二人で薬を確認し名前・日付・何時の薬か？をチェックし服薬をしております。またもう一人のスタッフは、与薬者を目追ひ、本人に服薬させているかを必ず確認をしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯干し・配膳の準備・料理の準備、本人の意志を確認しながら気分転換が出来る様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事の予定を決めて、出来るだけ戸外での行動が出来る様に支援しています。また近くの公園、コンビニと行き買い物をするように支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人はお金は持っておりませんが、散歩時や本人から何か食べたい等の要望があった場合は、一緒に買い物に行く支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設へ本人宛の電話があった場合は取り次いでいます。本人からの電話の要望があった場合は、状況を見て事務所より電話をさせています。（携帯を持っている方もいます。）手紙が届いた場合も本人に手渡しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わえる行事や、壁に季節の張り紙を貼ったり、出掛けた時の写真を貼っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	窓際に、椅子やソファを置き、外を見たり、会話をされたり、雑誌をみて穏やかにすごしています。また1Fの共用部分に生花を飾り、レイアウトを考え少しでも癒しになるように支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内のレイアウトは家族の要望に応じています。壁に写真や自分の作品を飾っている利用者様もいらっしゃいます。危険物（火器・貴重品・食べ物）に関しては持込を禁止しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が歩かれる所は手すりが設置されており安全に移動が可能です。浴室・トイレも案内板があり、場所も理解できる利用者様もいます。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語 いちがお

作成日 26 年 4 月 7 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		昨年同様に地域との関わりが不足している。	地域との連携を今以上にもち、関わって行く。	地域の年間行事を把握し、それに合わせて時間を作り参加して行く。	12ヶ月
2		外出の行事が不足している。	最低でも年4回は外出での行事を行う。	季節ごとの外出予定表を作り計画をたてる。また計画書も早めに作成をする。	12ヶ月
3		リビングでのレクリエーションの不足。	日々必ずレクリエーションの時間を作る。(10分~15分)	日々の業務の中にレクリエーションの時間を設け、必ず実施しなければ成らないという意識をつけさせる。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。